

謹賀新年



びわ湖での日の出



編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

TEL077-523-0034

新年のご挨拶

中部方面混成団長

一等陸佐 古河 克樹



新年のご挨拶

中部方面混成団友の会

会長 田中 清司



中部方面混成団の隊員諸官並びにご家族の皆様、そして「かけはし」愛読者の皆様、明けましておめでとうござります。

ご家族そして会員の皆様方には、平素より中部方面混成団に対し、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年三月に東北地方太平洋沿岸部を襲った東日本大震災は未曾有の大惨事となり、日本にとつて試練の年となりました。震災津波被害への対処について、自衛隊への期待は確固たるものとなり、自衛隊もその期待に十分応えたものと思えます。更には、周辺諸国への対応や国際貢献など、自衛隊に期待される役割は、これまで以上に厳しくかつ多様となっております。

我が中部方面混成団は、陸曹・陸士の教育担任部隊並びに即応予備自衛官や予備自衛官補等の「人」を育てる部隊であり、これら国民の負託に応えられる資質・技能を有する隊員の育成に努めることが必要となっております。

中部方面混成団の皆様、並びに友の会の皆様、輝かしい新年をお迎えになられたことを心からお祝い申し上げます。昨年は、友の会に対して絶大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年も友の会の皆様、中部方面混成団を会一丸となつて支援をさせていただきますと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年、東日本大震災に見舞われ、自衛隊が総力で取り組まれ、最大なる力、心強い力を発揮していただき、大変感謝申し上げます。また大変ご苦勞様でした。千年に一度とはいふもの自然の力、自然のエネルギというものは、これだけ近代的な科学や技術が

進んでいる今においてもひとたまりもない無惨な状況を作り出すということに改めて思い知らされました。これからの世界、これからの日本において、いかなる天災と災害（侵略）が起こり得るかわかりません。そうした中において、自衛隊の力がなければ日本を守ることは到底できません。中部方面混成団の教育隊で、次なるさらなる自衛隊を担っていただく若い隊員が育っていただき、明日の自衛隊、日本を守っていただくことを願っております。

本年も中部方面混成団の隊員の皆様、友の会の皆様にとりまして、良き年であることをお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も、今まで以上に厳しい環境にも対応できる人材の教育に情熱を注ぎ、「明るく前向きに」、「基本・基礎」を要望事項として部隊で真に役立つ隊員の育成に努めていく所存であります。皆様方には、今後ともこれまでと変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、今年一年、皆様方がご健勝で幸多からんことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





新年のご挨拶
第四十七普通科連隊長
一等陸佐 有浦 隆

明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。
昨年八月一日に着任して以来、連隊として、四回の即応予備自衛官招集訓練、三回の連隊野営等を行い、部隊練度の累積を図るとともに、各種競技会により隊員の戦技能力の向上も図ることができました。本年は、引き続き基本基礎を重視しつつ、創意ある訓練により、更なる訓練練度の向上を図るべく各種施策等を推進してまいります。
また、連隊は、中部方面混成団唯一の普通科連隊として、「即応予備自衛官」と「常備自衛官」が共に練磨しつつ、与えられた任務を完遂でき、皆様から信頼される「粘り強い第四十七普通科連隊」の練成に精進致しますので、益々のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。



新年のご挨拶
第四陸曹教育隊長
一等陸佐 鈴木精治

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、心安らかにして輝かしい新年をお迎えなられた事とお慶び申し上げます。
昨年四月、輝かしい歴史と伝統を誇る第四陸曹教育隊長に上番し、教育基幹隊員の熱い情熱と学生の一生懸命の姿勢に、久しく忘れていた教育心が再び燃え上がりました。第四陸曹教育隊は、中部方面隊唯一にして最上の陸曹教育を実践し、情報を発信する部隊です。教育は、決して一方的なものではないと信じています。教育基幹隊員には、今まで自衛隊生活で得た経験・知識・技能を確実に伝承し、自らの後継者を育成するとともに、自らも学生の起居行動を通じて、又は自学研鑽を通して学ぶ心『共に学ぶ』精神が大切であると考えております。教える者と学ぶ者が一体となり、東日本大震災でも活躍した「日本の陸曹」を創り上げたいと願うところですので。
皆様におかれましては、本年も旧年と変わりませぬご理解とご協力及びご指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。



新年のご挨拶
第一〇九教育大隊長
二等陸佐 猪股倫夫

新年明けましておめでとうございます。新年を迎え、皆様益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。大隊も私以下全員が初心を忘れることなく、いつまでもスポンジのような瑞々しい心を持ちたいと思っております。
さて第一〇九教育大隊は、これからの陸上自衛隊を担う一般陸曹候補生課程(前期)、自衛官候補生課程、予備自衛官補、予備自衛官の教育訓練を担当しております。大隊は、困難な状況においても心折れる事無く、常に希望を持ち、知恵を出しそして助け合って行動する、そのような「しなやかさ」を持った隊員となる礎を築く事が出来る様に、「明るく・元気に・前向きに」を合言葉に教育訓練に邁進していく所存です。何卒、本年も宜しくご指導・ご鞭撻の程お願いいたします。



新年のご挨拶
第一〇九教育大隊長
二等陸佐 品川善邦

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えになられた事と心からお慶び申し上げます。
昨年は、約四百名の一般陸曹候補生前期課程を担当し、新隊員教育の奥深さを痛感するとともに、教育訓練及び競技会を通じて、第一〇九教育大隊の素晴らしさ、底力さを身をもって感じる事ができた一年でありました。
今年も皆様の期待を一心に伝えられるようその底力を持って、教育部隊として更なる質的向上を図り、着実な積み上げにより将来の陸上自衛隊を支える貴重な戦力たる後継者を育成するため、大隊一丸で全身全霊を傾けて邁進する所存であります。本年も何卒、昨年同様ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

◆被災地へエールを 「抱きしめてBIWAKO」

大津駐屯地一般開放

大津駐屯地（司令 古河克樹一佐）は十一月六日、びわ湖の環境保全推進や東日本大震災の被災地を応援する滋賀県下全域の各地域で開催されたイベント「抱きしめてBIWAKO」に協力し、駐屯地を一般開放した。

当日はあいにくの天気であったが、グランドに一般参加者と現在第四陸曹教育隊に入校中の学生合わせて約六〇〇名で「がんばろう日本！」の人文字を作成し大津駐屯地から東北の被災地へエールを送った。参加者は、「被災地に少しでも元気が届けば嬉しい」と語っていた。当日は開放に併せて東日本大震災でも活躍した、自衛隊の活動が紹介された写真パネルや人命救助器材の展示も行われ、一般参加者は熱心に見入っていた。なお、このイベントには滋賀県内全域で約十六万人が参加した。



災害派遣器材に見入る来場者



上空からの「がんばろう！日本」の人文字

◆大津駐屯地で ヘリコプター体験搭乗

大津駐屯地は、十一月十二日に駐屯地内ヘリポートにおいて、部外協力者と防衛モニターに対するヘリコプター体験搭乗を、大阪府八尾に駐屯する第三飛行隊の支援のもと行った。

当日は、絶好の飛行日和となり、十八名の参加者たちは、事前説明を受けた後、ヘリコプター前で記念写真を撮るなどして搭乗前の一時を楽しんだ。

参加者は、約十五分間のフライトで京都・大津市の上空からの景観を堪能し、「最高の眺めだった」「ヘリコプターの速度に驚いた」と大変感動していた。

◆大津祭曳山巡行支援

大津駐屯地は、十月九日、大津祭曳山連盟の依頼を受け、大津祭の曳山巡行を支援した。

大津祭は湖国三大祭の一つで、江戸時代から受け継がれてきた十三基の曳山を一日中かけて市内を巡行する祭である。参加した四十名の隊員は、約十五万人の見物客が見守る中、二基の曳山を巡行し、大盛況の大津祭を市民と共に楽しんだ。



参加者18名と第3飛行隊隊員で記念写真



石橋山（しやつきょうざん）の曳山



西王母山（せいおうぼざん）の曳山

第四十七普通科連隊

◆第一次連隊野営訓練で

各種実弾射撃を実施

第四十七普通科連隊(連隊長 有浦隆一佐)は、十一月二十六日から二十九日の間、日本原演習場において第三中隊及び衛生・補給小隊の練度判定を行った。本練度判定は行進に引き続く「防衛準備」の中で、中隊長・小隊長の企図の明示・徹底、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を主体にその練度を判定した。練度判定開始にあたり連隊長から「基本・基礎動作の確行」「任務完遂の気概を持って」「安全管理」の三点を要望された。

各部隊は、即応予備自衛官の年間三十日の限られた訓練日程の中で、年度当初から計画的かつ効率的に訓練を行い、参加した全隊員が統裁官要望事項を念頭に真摯に取り組み、それぞれの地位・役割に応じた積極的に行動した結果所望の練度にあることを確認する事ができた。



陣地構築(補給小隊)



命令下達(第3中隊)



適切な緊急処置を実施(衛生小隊)

第四陸曹教育隊

◆第四十六期

陸曹基礎英語課程現地訓練



海兵隊装備品説明

第四陸曹教育隊(隊長 鈴木精治一佐)は、平成二十三年十月二十七日、キャンプ富士諸職種共同訓練センターにおいて第四十六期陸曹基礎英語課程学生の現地訓練を行った。

本訓練は、米国海兵隊との交流による軍事英会話能力の向上及び米国軍人の生活環境等の知識を深めるため、毎期行っている。

訓練間は、早朝(〇五三〇)から海兵隊員と共にPT(体育)訓練で汗を流し、その後は「下士官としてのリーダーシップ」について英会話による討議を行ったほか、海兵隊の装備品や施設を見学した。今回の現地訓練で学生は、自己の英会話能力に自信を深めるとともに、日米共同訓練や国際貢献活動に必要な知識を修得し、所望の成果を得た。



米国軍人の生活環境説明(キャンプ富士食堂)



キャンプ富士諸職種共同訓練センターでの集合写真

第一〇九教育大隊



◆二十三年度

大隊業務・装備改善展示会

第一〇九教育大隊（大隊長 猪股倫夫 二佐）は、十一月八日、二十三年度大隊業務・装備改善展示会を行った。

この展示会は、混成団が行う業務・装備改善展示会前に、日頃の訓練・教育・業務に携わる基幹隊員達が隊務運営の効率化や、改善意識の高揚を目的に、毎年行っている。

厳正な審査の結果、各中隊から出品された作品三十二点の中から十四点の優秀作品を表彰し、混成団に上申する。



厳正な審査の結果14点の優秀作品を団に上申



猪股大隊長への展示品の説明



第一〇九教育大隊



◆大隊射撃競技会

第一〇九教育大隊（大隊長 品川善邦 二佐）は、十月二十五日高屋射場において、大隊射撃競技会を「基幹要員の射撃練度向上、士気の高揚及び団結の強化を図る」を目的として行った。

開会式において品川大隊長は、「競技会に向け隊員に対して、「弾先に願いを込め、中隊の名譽をかけて戦え」を要望した。

各中隊は「優勝」を勝ち取るため日々練成した射撃予習の成果を十二分に発揮し、一弾、一弾に全神経を傾注して、中隊の名譽をかけて戦った。

その結果、第三一七共通教育中隊が大隊持続走競技会に引き続き、二年ぶりに奪還して、見事「優勝」を飾った。

大隊は、本競技会において、小銃装備者全員の射撃能力を確認し、じ後の射撃訓練の資を得ることが出来た。



品川大隊長への選手宣誓



第317共通教育中隊が見事優勝



中隊の名譽をかけての競技会



年男 新年の抱負



「年男新年の抱負」

第四十七普通科連隊 第二中隊

三等陸曹 上田 光昭

私にとって今回で三回目の年男を迎えることになりました。

新年を迎えるにあたり、まず最初に思ったことは、私も今年で三十六年目、「光陰矢の如し」とはよく言ったものだと感じました。ここ最近自分の事をきちんと振り返る事がなかったため、これを機に抱負として三つの事を心掛けようと思えます。一つ目は、常に周りの方々に助けていたいただいているという感謝の気持ちを忘れないこと。二つ目は、公私共に両立すること。三つ目は、どのような状況においても感情的にならず、常に冷静を保つよう心掛けることです。

去年の九月には待望の第一子が誕生し、私も一人の親という存在になりました。今後は、この抱負を念頭において自分の更なる成長を目指します。



「年男新年の抱負」

第一〇九教育大隊

第三二六共通教育中隊
二等陸曹 永田 友

新年明けましておめでとうございませう。今年で、三十六歳になり自衛隊に入隊して二回目の年男になります。

一回目である年男当時は陸曹候補生で陸曹を目指して頑張っており、当時目指していた陸曹像は、「戦技に熟達し誰からも尊敬される陸曹」でしたが、現在の自分を見てみると決して「尊敬される陸曹」ではないと思えます。「初心忘れるべからず」と申しませんが今年も年男ということもあり一度、心を入れる機会でもあります。

現在、私は教育隊の助教ということもあり「自分を磨いて隊員に見せる」という活模範を示す立場でもあり、中堅陸曹としての任務を理解し自らを鍛え充実した毎日を過ごせる様に頑張りたいと思えます。



「年男新年の抱負」

第四陸曹教育隊 普通科教育中隊

一等陸曹 山崎 康由

新年あけましておめでとうございませう。昨年は、東日本大震災を初めとする大きな災害が起こりました。災害派遣を含め自衛隊の任務の重要性が一段と大きくなっていることをヒシヒシと感じています。

そのような中、私は第四陸曹教育隊において戦闘に最終の決を与える普通科の陸曹を育成する普通科教育中隊で勤務する唯一の輸送科職種隊員であります。中隊での職務は、中隊本部補給陸曹として勤務しており日々色々と学ぶことも多く、忙しい中、充実した毎日を感じています。

今年の目標は、「初心を忘れない」をモットーに、小さな業務を積み重ねることの大切さ、重さを感じつつ、頑張るべきことと決意しております。私が職場において充実した仕事をすることは、やはり家庭の支えがなくてはならないと思えます。今年、我が家は、私、妻、次男と辰年の年男、年女が三人揃いました。辰年三人プラス長男(寅年)の家族が、お互いに支えあいながら公私共に充実した楽しい一年を過ごせるよう努力したいと考えております。



「年男新年の抱負」

第一〇教育大隊

第三三二共通教育中隊
二等陸曹 堀内 新司

二十歳を過ぎるとあっという間とよく耳にしますが、まさにその通りだと実感しています。この十二年間は公私共に忙しい日々でしたが非常に充実した時間だったと思います。結婚に始まりP KO派遣、各種教育訓練、転属等様々な出来事がありました。今では家族も増え賑やかな毎日を過ごしています。

教育部隊に転属して第一期から第四期までの一般陸曹候補生の教育に携わりましたが毎年教育の難しさを痛感しています。しかし、教育を通じ新隊員や各班長から得ることも多く、その度に自分を成長させてくれています。また教育だけでなく日頃の勤務、訓練でも指導・助言を頂き良き上司と同僚に恵まれていると思えます。教わる側から教える側になり、自分に与えられた任務は重要ですが基本・基礎を怠ることなく、自身と誇りを持ち信頼される人を目指し前向きに取り組みたいと思えます。